



## 長和町のすがた

### 地勢

長和町は、長野県のほぼ中央、小県郡の南部に位置し、東は蓼科山系の山脈を境として立科町に、南は中信高原霧が峰山塊を境として茅野市、諏訪市に、西は美ヶ原高原があり松本市に、北は上田市の武石、丸子と接しています。東西16.39km、南北21.50km、周囲68.50kmで、総面積は183.95km<sup>2</sup>です。

### 気候

標高が高く周囲を山に囲まれた地形のため気候の変化が厳しく、気温は、最高で30℃以上、最低でマイナス10℃以下となり、年間を通して寒暖の差が激しい気候です。また、降霜期間は7ヶ月余りと長く、積雪期間も4ヶ月余りにおよびます。積雪量は比較的少ないものの、特に1月から2月の寒さは厳しいことから、冷害、凍霜害等自然災害を受けやすい条件にあります。

### 歴史

長和町には、江戸板橋宿から数えて27番目の長久保宿と28番目の和田宿の2つの旧中山道宿場町があります。旧中山道は国の史跡として保存されており、長久保宿や和田宿では、本陣が復元されているほか、旅籠の出桁づくりや屋号看板が当時の賑わいを物語っています。また、立岩地区の立岩和紙は300年の伝統をもち、最盛期には50戸の紙漉き農家がありました。現在は「信州立岩和紙の里」を拠点として伝統文化が守り続けられています。

## 遊体荒廃農地整備



荒廃農地の整備作業



霧山  
ダツタンソバ



楮(こうぞ)



花豆

## 伝統文化の維持・再生



旧中山道宿場でのフィールドワーク



紙漉き体験実習

## 総合的環境保護



森林整備実習



炭焼き実習